

令和2年10月

第492回 三水会便り 忘年会は中止 新年会に統合します

例会・現地集会を淡々と続けています。新型コロナウイルスへの警戒態勢で通常の活動にも種々の制約がありますが、会員の熱意によって年初に立案した企画をなんとかこなしています。先月の例会は、中村講師の“六度目の生物大絶滅”でした。会場をルーム104号室に切り替えるとともに開始時刻を1時30分に繰り上げました。ルームでの飲食は禁止となり、「設立45周年記念事業」に続けて、「忘年会」も中止です。しばらく我慢、我慢です。(高橋重)

10月の予定

■現地集会 西上州「中里諏訪山, 上野カイト山」 15日 10:00 JR 本庄駅集合 「不二野家」で熊鍋を楽しむ

10月現地集会は群馬・上野村「不二野家」で開催します。15日 10:00にJR高崎線本庄駅に集合◇15日/志賀坂峠登山口→尾根コース→山頂(往復3時間)。上野村の酒屋により飲み物等を購入。ビール以外は酒屋で買います。持ち込み大歓迎◇16日は上野カイト山(白板山)1342.8m。ゆっくり4時間。山頂は横長の岩稜帯で360度の展望に恵まれ浅間山, 妙義山, 両神山などを望めます◇費用は12,000円くらい。昼食¥525含む料金で前日注文◇係り/橋本雅子 kohpayam@hotmail.com 080・4189・3927(携帯) まだ受け付けます。

16日の行程/事前調査結果 白井地区休憩所前6:10→(2分)→水上神社6:12→(35分)→渡渉点6:47→(31分)→林道矢弓沢線に出る7:18→(24分)→雨量計7:42→(2分)→石仏の並ぶカイト山入山口7:44→(15分)→林道矢弓沢線起点より6.6km地点で引き返す7:59→(6分)→南尾根西側取付き8:05→(21分)→カイト山8:26~33→(17分)→カイト山入山口帰り8:50→(18分)→旧十石街道入口9:08→(58分)→白井駐車場10:06

11月の予定

■例会 18日 1:30~ 川俣俊一/南米パタゴニア紀行 氷河・氷山 強風吹きすさぶ地の果ての旅

北半球の温暖で緑豊かな恵まれた地で生きている我々にとって、正に地球の反対側のパタゴニアは、最も遠い地。気候的にも地勢学的にも植物学的にも、正反対の地と言っても良いのではないのでしょうか。この地に平成7年2月、今から25年前に訪れました。荒涼たる大地, そびえ立つ岩峰, 氷河, そして吹きすさぶ強風の中の旅の強烈な印象, そしてたどり着いた反対側, 花々に囲まれたアルゼンチン側の木造の宿に入ったときには、本当にホッとしたことを覚えています。小泉さんのお力を借りて、なるべく多くの写真を見ていただいて、地の果ての雰囲気味わっていただきたいと思っております。(川俣)

■現地集会 29日京浜急行三崎口集合 荒崎から長浜海岸まで海岸歩き

午前10時京浜急行三崎口駅前に集合。荒崎から長浜海岸まで海岸歩きのと、4時から6時半まで横須賀市衣笠のお太幸で反省会を予定。雨天中止

◇三水会当面の予定

実施月	例会等	現地集会
10月	45周年記念集会/来年に延期	10/15~16 西上州(中里諏訪山等)
11月	11/18 川俣俊一/パタゴニア	11/29「三浦半島」 担当吉田正隆
12月	忘年会/中止	12/21「厚木鷲尾山」 担当征矢三樹
1月	新年会 詳細未定 候補/鎌倉・衣張山	1/12 担当増田達治・田中恵美子

“六度目の生物大絶滅”は人間の活動が要因 中村講師がヴィンス報告など紹介

プロジェクターの操作にてこずったが、スクリーンに突如としてカトマンズ Hotel Sunset View から眺めた夕日が大きく映し出された。それなりに美しい。第一の話は、このヘイズ (heze, 褐色) の霧による現象だ。さまざまな微粒子が大気にただよっている。薪、牛糞、亜炭を利用した家庭の調理・暖房、工場からの亜炭、石炭、また焼畑農業など…によるもの。人の営為は多岐にわたる。それらが混じり合って美しい夕日をつくり出している。第二もショッキングな話だった。レアメタルのひとつ/タンタルを採掘するのにアフリカのコンゴなどでマウンテンゴリラが危機にさらされている。採掘に関わる鉱夫らに食料として食べられてしまったり、炭や小屋を作るために森林伐採が行われてすみかを追われたりしているという。タンタルは、ケータイ電話などに使われている金属だ。



アナリー・ニューイツ著『次の大絶滅を人類はどう超えるか』によると、地球は過去5回にわたる“大絶滅要因”で生物が絶滅しかかった。6度目の絶滅危機の要因は、人類の爆発的な増加、グローバルゼーション、大量生産、農業革命など人間の活動だ。それによって河川・湖・土壌が汚染され、化学冷蔵媒体でオゾン層が破壊されている。二酸化炭素の影響で気候変動・海洋の酸性化が進み、干ばつ・豪雨・熱波の深刻化などで生物の大量絶滅に直面しているというのだ。

インカ帝国の始祖は4人の兄弟と4人の姉妹だった。皇位継承者を誕生させるのは親近者だけと考えた。遺伝子バリエーションの少なさで帝国の寿命は短く、わずか100年で滅亡した。中村講師は、すべての動植物は人類の資産であり数千年の間生きながらえてきた生命体を絶滅させてはいけないと強調した。そして万葉集/山上憶良の歌を取り上げた。スライドに映した。「秋の野に咲きたる花を指折り かき数ふれば 七種の花」、「萩の花尾花葛花撫子の花 女郎花また藤袴、朝貌の花」。スライド脚注はこの大半が、すでになんらかの形で絶滅危惧種に指定されていることを指摘していた。

地質時代の大絶滅要因「人類が変えた地球」等から			
回	地質時代	絶滅要因	絶滅率%
1回	オルドビス紀(約4億4,400万年前)	海面低下	85
2回	デボン紀後期(約3億7,400万年前)	海洋酸素欠乏	82
3回	ペルム紀末(約2億5,100万年前)	海岸線後退	90
4回	三畳紀後期(約1億9,960万年前)	隕石の衝突	76
5回	白亜紀末(約1億4,500万年前)	火山活動	65

9月例会は16日、104号室で行った。参加者 15人/石井由紀、川俣俊一、北口マリ子、小泉義彦、児嶋和夫、高橋郁子、高橋重之、田中恵美子、中村直樹、平野幹雄、牧野昭蔵、増田達治、三井賢治、三井吉由江、山口延子。この日の新聞は国連・生物多様性条約事務局が公表した報告書を報じていた。生物多様性保全のために2020年までに各国が取り組む項目を掲げた「愛知目標」が、「いずれも完全には達成できなかった」という。報告書は同条約事務局が約170の国別報告書や様々な生物多様性に関する研究成果やデータなどを分析してまとめた。

(文/高橋重)
参考資料/ガイア・ヴィンス「人類が変えた地球」、アナリー・ニューイツ「次の大量絶滅を人類はどう超えるか」、ピーター・ブラネン「第6の大絶滅は起こるのか—生物大絶滅の科学と人類の未来」

現地集会

野紺菊、霞沢・六百・三本槍、地震、熊はなし

9月5～6日、上高地で「あんころ餅と薬湯の会」実施

上高地の山研で9月5～6日、恒例の「あんころ餅と薬湯の会」を実施した。台風9・10号が相次いで来襲し開催が危ぶまれたが、結果的にはうまくかわした格好だった。コロナ禍で宿泊は10人限定、シュラフ持参だ。往復の電車・バスに、いつもの混雑はなく、のんびりした現地集会だった。翌日は、梓川右岸を逍遥、霞沢岳・六百山・三本槍をおおぎみた。野紺菊/ノコンギクやサラシナショウマが秋の深まりを教えてくれた。熊には出合わなかった。新しく三水会に入会した三井賢治さんに報告してもらった。

日本山岳会に入会してから2年ほど。ことし夏に行った山行委の山行時に、三水会にお誘いいただいた。山に登るためのツールとして考えていたが、入会して、これまでの山の仲間とは違う、異次元(?)の方々が多いことに気付いた。山だけでなく、人として何かを学べる機会ではないかと思うようになった。歴史があり、人と触れることに緊張する。年齢的に言えば、私と三水会全体は一世代違う。簡単に言えば、親子ほどの年齢差だ。

9月5日、お昼前に松本駅に集まった。メンバーは一世代違うが、話の中身が合わないとかはなく、いろいろな考え方があって面白い。買い物を済ませ時間通りに松本電鉄で新島々へ…、そして上高地山研へ。会話を楽しんだ。山研へ着くと、コロナ対策として、新しい管理人の山田さんから体温チェックと手の消毒のあと山研での過ごし方の説明を受けた。

お酒は苦手だったのだが、勧められて結構飲んだように思う。悪酔いをせず、後で「あれっ」と感じたくらい。山の話あり、世の中の話あり、人生の話あり…。一言では言えない話に興奮やまなかった。

翌朝6時に起床した。気温18℃。涼しい。梓川沿いに散策した。帝国ホテルで紅茶・コーヒーを楽しんだ。あんころ餅を食べるのを忘れていたことに気づいて山研へ戻り、企画題名通りの「あんころ餅」を行った。帰途についた。大勢は2時半発のバスで松本に向かった。楽しんだ。そして多様な考えを学びんだ。ときには、こういうノンビリした山の企画があっても良いと思った。



地震があった。よこ揺れでなくドーンと突き上げる感じだった。酒匂輝昌さんから電話があった。福井登さんからは地酒/白馬錦の差入れがあった。三水会が毎年9月第一土曜日に現地集会を開催していることを覚えていてのご厚意だった。お酒には娘さんのメモが添えてあった。親父譲りの山好きで日本山岳会会員になったという。盛り上がった。参加者/川俣俊一(係り)、北口マリ子(同)、小泉義彦、児嶋和夫、高橋郁子、高橋重之、三井賢治、田中清介(スケッチクラブ)、富澤克禮(緑爽会)、辻橋明子(総務部)。(文/三井賢治)

■会費納入のお願い

三水会の会費(年2,000円)を納入ください。一般普通銀行からも次の口座に送金できます。

三水会口座 ゆうちょ銀行/金融機関コード(9900)、店番/058(店名/ゼロゴハチ)、種目/普通、口座番号/6700271です。

三水会便り 第492回 発行2020年10月1日
東京都千代田区四番町5-4 日本山岳会三水会
便り担当 北口マリ子、山口延子、文責/高橋重之